

観光DXの推進に向けて
観光振興における包括連携協定を締結

8月26日、町と町旅館業組合（佐藤雄一郎組合長）、鉄道情報システム株式会社（本多博隆代表取締役）の3者は、お互いの知識や資源、魅力を活かした観光振興に取り組むための連携協定を締結しました。

今後、観光DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を行い、情報発信や宿泊予約サイトの一元管理、観光統計などの課題解決に向けた取り組みを行ってまいります。



本町の施策立案に活かすべく
SDGs戦略マネージャーを任命

8月25日、SDGs（持続可能な開発目標）を、今後の町の施策に活かすためのアドバイザー、職員向けの研修会を開催による職員の資質向上を図る目的として「SDGs地方創生公認ファシリテーター」、「SDGsアウトサイダー」公認ファシリテーターで、宮崎大学地域資源創成学研究所修士課程の瀧伸一さんを「高千穂町SDGs戦略マネージャー」として委嘱しました。



役場ロビーにて展示
透明感のある輝きで魅了するアート

8月18日、ガラスアーティスト田中英樹さん（宮崎市）が、町へアート作品を寄贈しました。田中さんは、綾町のガラス工芸作家で「現代の名工」黒木昭さんに弟子入りし作家デビュー。（株）アトリエラボを設立し、作品展を行うなど活躍しています。コロナ禍を脱したいと願いを込めた作品「未来へ」は、役場ロビーに展示しております。

※田中さんの作品は、Cafeteria TAKACHIHOYA神話の里美術館にも展示しています。



若い人にもぜひ興味を
高千穂町の花の魅力PR

8月8日、高千穂町花き園芸組合（土持陽宏組合長）は、藤本副町長と坂本町議会議長に町内で栽培されたホオズキやリンドウなど、夏の花を贈呈しました。また、10日には、町花の日推進会議会長の甲斐町長らが、町内の各事業所を訪問し、鮮やかな色のホオズキやリンドウ、小菊、トルコギキョウの花束を手渡しました。

※町では、花き栽培の振興と花に彩られた住みよい町づくりを推進するため8月7日を「高千穂町花の日」と制定しています。



農業者の皆さまへ
肥料価格高騰対策補助金
申請受付をおこないます

日時

10月12日（水）午前9時～午後4時

場所

ゆめゆめプラザTAC

対象となる肥料

R4.6月から10月までに注文・購入した肥料（秋肥）
※来年春肥の支援は令和5年2月頃に案内予定です。

詳しくは JA広報誌かるめご10月号をご覧ください

LINE公式アカウント 友だち募集中

町民のみなさまに聞いてほしい情報やプレゼント企画を配信しています。

- ① QRコードをカメラでかざしアクセス
- ② アイコンが表示されたら「追加」
- ③ 友だち登録完了



※通知が気になる場合は、ブロックをせずに『通知オフ』をご利用ください。

健康で働ける感謝と喜び
今年で5台目の車いすを寄贈

8月23日、白瀬美保子さん（上野）が、車いす1台を町に寄贈しました。白瀬さんは「また1年、元気に働くことができた」と健康への感謝の思いから、毎年車いすを町へ贈っており、今年で5年目となります。町長は早速、明日からの新型コロナウイルスのワクチン接種会場や要望のあった体育施設で活用したい」と感謝の言葉を述べました。



スポーツ界から町の魅力を発信
神都高千穂観光大使を任命

8月16日、高千穂町と高千穂町観光協会（竹尾通洋会長）は、岩戸出身の名城大学女子駅伝部監督の米田勝朗さんを「神都高千穂観光大使」に任命しました。駅伝部は、全日本大学女子駅伝対校選手権を5連覇中。また、富士山女子駅伝も4連覇中と輝かしい成績を収めており、米田さんは「町の魅力を発信していくためにも、今年の大学駅伝で結果を残し、みなさんに喜んでいただけるよう頑張りたい」と話しました。

